

車両用防護柵基礎一体型プレキャストL型擁壁 Gr・L型擁壁

NETIS 登録番号 QS-030051-VE (設計比較対象技術・活用促進技術) 掲載期間終了時点データ
宮崎県新技術活用促進システム登録製品 (県内関連技術一製品一区分別整理番号 29)
JIS A 5372 プレキャスト鉄筋コンクリート製品Ⅱ類取得

概要

「Gr・L型擁壁」は、たて壁部分に種別C種またはB種の車両用防護柵支柱を設置するための基礎を一体成型し、衝突荷重に対する擁壁の安定性、強度および車両用防護柵が持つ車両の誘導性や路外逸脱防止性能を実車衝突試験で確認したプレキャストL型擁壁です。(H寸法は0.5m～4.0mまで。L寸法は2.0m)



全国のメーカーにノウハウを分権
宮崎発の技術が全国へ！



全国における「Gr・L型擁壁」の施工実績
面積:23,549m²(29年度)。累計496,935m²。
延長:18,875m(29年度)。累計327,772m。
安全性の高さで、ますます実績が増えています。
【コンクリート工における生産性向上に有効です】



建設技術審査証明 (土木系材料・製品・技術、道路保全技術)
(建技審証 第 0438 号 一般財団法人土木研究センター) を取得しました。
(有効期限:平成 32 年 3 月 30 日)

審査によって証明された性能は以下の 4 点です。

「車両の衝突荷重に対する擁壁の安定性」、「車両の衝突荷重に対する擁壁の強度」、
「下部擁壁工に与える影響:少」、「施工性:曲線施工や縦断勾配施工」

◎建設技術審査証明事業

建設技術審査証明は、民間において研究・開発された技術を建設事業に適正に反映され、新技術の建設技術水準の向上を図ることを目的とした制度です。この制度の運営に当たっては、当該審査証明技術について学識経験者による「審査証明委員会」を設け、開発の趣旨、開発目標および技術内容、既存の技術との対比、実績等について審査を行い、使用現場の適正判断を容易にして、技術の早期普及を図っています。なお、対象技術は土木系材料・製品・技術、道路保全技術を対象としています。

(土木研究センターHPより)



建設技術証明事業
(土木系材料・製品・技術、道路保全技術)
建技審証 第 0438 号
一般財団法人土木研究センター

※製品長L=2.0未満の短尺品も製造可能です。価格は営業にお問い合わせ下さい。但し、短尺品はJISⅡ類及び建設技術審査証明対象外となります。

技術開発・製造元  和光コンクリート工業株式会社

問い合わせ先: 営業・設計・製造 URL: <http://www.wakocon.co.jp> E-mail: info@wakocon.co.jp
宮崎県日向市東郷町山陰丙1537番地1 TEL: 0982-69-2216 FAX: 0982-69-2554
本社: 宮崎県日向市向江町2丁目125番地 TEL: 0982-52-3610 FAX: 0982-54-4681

無断複製禁止

和光コンクリート工業はプレキャストコンクリート製品業界の中で、「防護柵に関する衝突試験のノウハウ保有日本一」です。そのノウハウをGr・L型擁壁に注ぎ込みました。

2018年7月